

自転車新文化に関する認知度調査の結果について

1 調査目的

令和5年5月に策定した「第2次愛媛県自転車新文化推進計画」（平成31年3月「第1次計画」策定）に定める各種施策に対する県民の需要を把握し、反映させることで、更なる総合的・戦略的な施策展開を図るため。

2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

3 調査期間

令和6年9月5日（木）～9月11日（水）

4 回答者数

400人（18～79歳の県内在住者）

5 概要

【「自転車新文化」の認知度】

- ・「知っている（11.8%）」「内容は知らないが、聞いたことがある（26.5%）」となり、県民の38.3%が「自転車新文化」について認知している結果であった。
- ・一方、「知らない（61.7%）」となっており、引き続き自転車新文化の推進に取り組んでいく必要がある。

【「自転車新文化」の更なる普及・拡大のための方策】

- ・「自転車利用者が安全・快適に通行できる自転車通行空間の整備（52.8%）」、「交通ルールの遵守やマナー向上による自転車の安全利用の普及・啓発（44.8%）」、「サイクリストの受入環境・おもてなし態勢の整備（33.5%）」、「女性、高齢者、子ども、障がい者などの幅広い層への自転車利用の普及・拡大（25.0%）」、「自転車通学・通勤の促進による二酸化炭素排出削減等の環境問題への対応（16.3%）」、「国内外へのプロモーション活動等による交流人口の拡大（16.3%）」、「自転車競技の振興や全国規模の各種大会等の誘致（13.8%）」となり、自転車通行空間の整備や自転車安全利用の普及・拡大といった自転車の安全利用に関する割合が高い結果となった。